

## タケイ液の使用法

### 1. 特許タケイ液の効用に就いて

コンクリート、モルタルの混入用タケイ2号液は数種の金属錯塩から構成され、コンクリート混練に際しセメント粒子に働き、水和反応を促進し水和度を高め、セメント硬化体中の空隙を減少して、緻密にするための触媒的機能を有する混和剤であります。更に特許タケイ3号液は打ち込まれたコンクリート（モルタル）中の2号液と相乗的な効果を発揮し、特に浸透性を有し、内部に浸透して不溶性物質を析出して空隙を充填し、水密性を一層高める役目を果たし、強硬なコンクリートとなって防水性、耐蝕性を附与するものであります。このタケイ2・3号液使用のコンクリートを「タケイ進化コンクリート」と呼称して居ります。

### 2. 特許タケイ2号液の使用法に就いて

タケイ2号液の標準使用量はセメント重量に対し、原液を0.5%の割合で練りませ水に添加します。

例

単位セメント量300kgの場合

タケイ2号液使用量 =  $300\text{kg} \times 0.005 = 1.5 (\ell)$

### 3. 特許タケイ3号液の使用法に就いて

タケイ3号液はコンクリート（モルタル）の乾燥状態に撒布又は噴霧養生を施すのが最適であります。コンクリート打設後、又はモルタル施工後対物が湿潤し、充分濡れ状態になるまで撒布浸透処理を施し、2号液混入コンクリートとの相乗強化をもたらす重要な養生液であります。

### 4. タケイ2号液と他混和剤との併用に就いて

特許タケイ2号液中の重金属イオンが水質汚濁防止法中の有害物質として抵触する懸念が生じたので、これらを完全に成分中より除去し、尚一層の水密性向上の効果を上げるために鋭意研究改良を進めた結果、昭和51年4月1日より成分の1部を改変、この結果従来の2号液と異なり、減水剤、AE剤、流動化剤等の所謂界面活性剤との併用が可能となり、既に数多くの併用実績を有し支障が生じておりません。

又、強度、防水性等に就いても何等差支えありません。

但し、混和剤としての促進性、遅延性、防水剤などにはタケイ2号液と化学的に「マッチ」しないものもあるので、界面活性剤以外の混和剤を併用する場合は弊社までお問い合わせ下さい。